

ベナン月報(2016年2月)

主な出来事

【内政】

- 11日, 4日に予定されていた選挙人カードの配布が開始されない状況を受け, 憲法裁判所は28日に予定されていた第一回投票を3月6日に延期する旨, 選挙人カードの配布が完了しない場合は昨年の選挙人カードを使用できる旨決定した。
- 19日, 大統領選挙キャンペーンが開始された。期間は15日間で, 3月5日午前0時まで。最終的な候補者は33名となった。

【外政】

- 2日, ブルキナファソの経済・財務・開発大臣に任命されたクリバリ(Mme.Rosine Sori KOULIVALY)前 UNDP 常駐代表が, ウンベジ国民議会議長の元を訪れ, 退任の挨拶をした。
- 8日, ヤイ大統領はオランド仏大統領とエリゼ宮で会談, 大統領選挙やブルンジ情勢について話し合った。

【経済】

- 13日, ザンス首相のイニシアティブによる「全ての人に光を(Lumière pour tous)」プロジェクトが開始され, 公立学校に対する照明機材の配布が開始された。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および, Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 4日, 教員労働組合戦線(Front d' Action des Syndicats de l' Education)は未払いの給与の支払いなどを求め, 48時間のストライキに突入した。(5日, La Nation 紙)
- ・ 15日, 外交官・通訳・翻訳者労働組合及び外務省労働組合は, 勤務環境改善などをはじめとした要求が外務省に受け入れられないことから, 翌16日より48時間のストライキに突入することを決定した。(17日, Le Matinal 紙)
- ・ 20日, ベナン報道組合(UPMB)は, 16日に Canal3 の記者が外務省でのストライキの様子を取材に訪れた際, 治安部隊を使って記者を追い出したとして, アカディリ(M.Saliou AKADIRI)外務大臣に対し抗議する声明を発表した。(22日, Le Matinal 紙)

【大統領選関連】

- ・ 2日, 高等視聴覚委員会は, 大統領選挙に際し, 報道機関がそれぞれの候補者の平等な報道を行うこと, また, 最後の投票所が閉まるまではいかなる暫定結果の報道も行わないことを求めた。(3日, La Nation 紙)
- ・ 4日, COS/LEPI は翌5日より新たな選挙人カードの配布を, アリボリ県・ボルグ県で開始, 24日までには配布終了することを発表した。今回配布される選挙人カードには, バーコード, QRコード, ホログラム加工及びもう一つ秘密の技術による偽造防止処理が施されている。

(5日, La Nation 紙)

- ・ 4日, 野党UNのウンデテ(M.Eric HOUNDETE)候補が, 大統領選挙の立候補辞退とザンス首相支持を発表した。(5日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 9日, ECOWAS選挙監視団の長期ミッションが派遣された。(9日, La Nation 紙)
- ・ 11日, 4日に予定されていた選挙人カードの配布が開始されない状況を受け, 憲法裁判所は28日に予定されていた第一回投票を3月6日に延期する旨, 選挙人カードの配布が完了しない場合は今年の選挙人カードを使用できる旨決定した。(12日, La Nation 紙)
- ・ 11日, 憲法裁判所は COS/LEPI は活動を止め, 選挙人カードの作成・配布の活動は情報処理センター(CNT)に行わせることを決定した。(15日, La Nation 紙)
- ・ 13日より, ボルグ県の一部で選挙人カードの配布が開始された。(15日, La Nation 紙)
- ・ 18日, 選挙キャンペーンの開始に先立ち, 登録終了後の辞退を受けて公表された最終的な候補者の人数は33名となった。(19日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 19日, 選挙キャンペーンが開始された。期間は15日間で, 3月5日午前0時まで。(22日, La Nation 紙)
- ・ 21日, CENAは全546選挙区の選挙管理責任者のリストを公表した。(24日, Le Matinal 紙)

【治安】

- ・ (1月31日)コトヌ市アツパツパ地区の海岸で8歳前後の子供2名が波にさらわれ, 死亡した。内1人の遺体は発見されていない。(2日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ (1月31日)アラダ市の幹線道路でミニバスがバイクに突っ込んだ後横転, 複数の死傷者が出た。(1日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 15日, クッフオ県クルエカメ市で違法ガソリンの倉庫から出火, 倉庫の持ち主1名が死亡した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 15日, コトヌ市13区で選挙人カードの配布が開始されないことに怒った住民が, 路上でタイヤを燃やすなどして抗議した。(16日, Le Matinal 紙)
- ・ 15日, コトヌ市のラギューン(潟湖)に架かる第3橋付近で, 77名が船でガボンに不法出国しようとしているところが発見され, 逮捕された。77人の国籍はブルキナ人, トーゴ人, ナイジェリア人及びベナン人など様々。(15日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 20日, ゾボドメ市でアジャボン候補の選挙キャンペーン資材を輸送していた車のタイヤが破裂, 横転し1名が死亡, 複数名が負傷した。(22日, La Nation 紙)
- ・ 23日, ロコサ市とボバ市の間にあるバボジ村で, 憲兵隊と住民が衝突, 2名が死亡, 複数名が負傷した。憲兵隊員が村の男性に任意同行を求めたことが発端だと思われる。(24日, La Nation 紙)

【外政】

- ・ 2日、ブルキナファソの経済・財務・開発大臣に任命されたクリバリ(Mme.Rosine Sori KOULIVALY)前 UNDP 常駐代表が、ウンベジ国民議会議長の元を訪れ、退任の挨拶をした。(3日, La Nation 紙)
- ・ 5日、日本消防協会より寄贈された中古消防車の引き渡し式がコトヌ中央消防署で実施され、アザンデ内務大臣、塚原駐ベナン日本大使、ゾマホン在京ベナン大使が出席した。(8日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 6日、コトヌ市国際会議場で旧正月を記念した中国料理試食会が開催された。(8日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 8日、ヤイ大統領はオランダ仏大統領とエリゼ宮で会談、大統領選挙やブルンジ情勢について話し合った。(9日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 19日、ロコサ市ナブバ孤児院で草の根無償資金協力案件「ロコサ市ナブバ孤児院生活環境改善計画」の署名式が行われ、塚原駐ベナン日本大使が出席した。(24日, Le Matinal 紙)
- ・ 25日、在ベナン日本国大使館で草の根無償資金協力案件「カリママ・マランヴィル井戸建設計画」の署名式が行われた。(26日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ 3日、銀行ORABANKは、AFD及びEUの協力の下、インフォーマルセクターで経済活動を行う零細企業に対し融資を行う事を可能にする「メゾフィナンス」プロジェクトを開始した。(3日, La Nation 紙)
- ・ 7日、ズー県アボメイ市でトッフオ市、ラロ市、アグバニズン市を結ぶ道路の起工式が開催され、ヤイ大統領が出席した。(9日, La Nation 紙)
- ・ 9日、イスラム開発銀行による110億FCFAの援助でコトヌ市に建設される商業用ツインタワーの起工式が開催され、ヤイ大統領が出席した。完成後、同ツインタワーで生み出される利益はベナン政府とイスラム開発銀行で50%ずつ分配される。(10日, La Nation 紙)
- ・ 13日、ザンス首相のイニシアティブによる「全ての人に光を(Lumière pour tous)」プロジェクトが開始され、公立学校に対する照明機材の配布が開始された。(15日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 15日、クウェート政府による10億FCFAの援助で建設される「チャウル市ゾーン病院」の起工式が開催され、ヤイ大統領が出席した。(16日, La Nation 紙)